

地域獣害対策協議会による取組

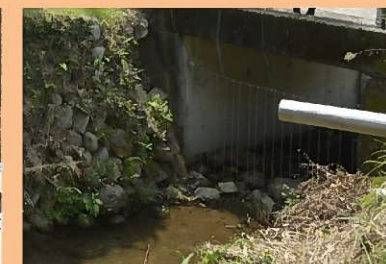
現在、市内には23の地域獣害対策協議会が設置され、農作物を守るため、地域ぐるみで有害獣の追い払い活動などが行われています。



里山と農地の間に設置された防護柵



ロケット花火によるサルの追い払い



水路に設置された電気柵(フラッシュゲート)



田んぼの周りに設置された電気柵



白山町上ノ村地区と榊原地区の皆さんによる取組を現地視察(H26.7.22)



平成28年度の獣害対策 ~獣害対策の三本柱の取組を引き続き推進~ 当初予算 1億223万8,000円

目標1 有害鳥獣を減らす！

自然植生に目立った影響が出ないような数まで減らす取組を支援

● 捕獲檻設置等の補助金や捕獲の報奨金を支給

- サル成獣 25,000円(幼獣 25,000円)
- シカ成獣 10,000円(幼獣 3,000円)
- イノシシ成獣 8,000円(幼獣 3,000円)

● 近年目立つアライグマによる農作物への被害や生活環境被害への対策として捕獲檻の貸出を実施

目標2 農地などへ寄せ付けない！

農地を防護柵で囲むなど、地域ぐるみで野性鳥獣が寄り付かない環境を整備

- 防護柵設置の指導や補助
- 地域獣害対策協議会の設立や活動への補助
- 追い払い用の花火などの支給
- 捕獲が困難で広いエリアを行動するサルについて、行動範囲と頭数を把握